

令和7年度 きばいやんせふるさと基金活用事業一覧表 実績

1 地域の活性化に関する事業

充当額 447,697千円

No.	事業名	事業内容
1	【地域】サテライトオフィス運営業務委託	サテライトオフィス進出企業への継続的なフォローに加え、地域の企業やコワーキングスペース利用者などの多様な人材が集うことで生まれる新たな連携や事業などのシナジー効果による地域活性化を図った。
2	【地域】市内企業パンフレット作成事業	企業ガイドブックを成人式で配布することにより、市の企業を知ってもらい将来の若者の定住やUターンに繋ぐことができた。
3	【地域】地域活動活性化事業	地区公民館が地区内において地区活性化、教育・文化、地域福祉、安心・安全、生活環境をテーマにした地区住民が参加する新たな取組みを行う活動を表彰し、賞金を市内の事業者で消費することにより、地区公民館活動の促進、地区の絆のさらなる強化及び市内事業者の活性化が図られた。
4	【地域】地区コミプラ推進事業	地区公民館と自治会等が連携し、地区公民館を中心としたコミュニティ・プラットフォームを構築することで、地域の課題解決や地域自治活動の活性化が図られた。
5	【地域】まちづくり事業補助金(実践事業)	自治会やコミュニティ団体等が、自ら考え自ら実践するまちづくりに努める活動等に対して助成を行うことで地域及び市の活性化が図られた。
6	【地域】空き家バンク登録促進事業補助金	空き家バンクへの登録を完了した物件の所有者等に対し、登録物件の家財道具等を処分するための費用の一部を支援し、空き家バンクへの登録促進及び移住希望者の円滑な移住促進を図ることができた。
7	【地域】空き家等活用支援事業補助金	地域が空き家を移住者住宅として改修したことで、隣接市からの移住者獲得につながった。
8	【地域】マイホーム取得支援事業補助金	移住定住の促進のため、住宅取得等に対し助成を行い、地域の活性化を図ることができた。
9	【地域】住み替え住宅リフォーム補助金	移住定住の促進のため、空き家のリフォームに対し助成を行い、地域の活性化を図ることができた。
10	【地域】働く若者定住促進事業補助金	若年層に対して家賃の一部を補助することにより、本市への移住のきっかけづくりの働きかけとともに、経済的負担の軽減を図ることができた。
11	【地域】子育て世帯家賃応援補助金	子育て世帯に対して、家賃の一部を3年間補助することによって南九州市内への移住定住の促進を図ることができた。
12	【地域】地域ブランディング事業費	南九州市芸術写真祭「MINAFOTO」の開催と、連動企画である高校生を対象としたデザイン講座等を通じ、広告費換算では、およそ450万円以上、県内外の報道媒体36社に取り上げられ、本市の魅力を伝えることができた。
13	【地域】移住・交流お試し居住事業費	本市への移住希望者との接点の場づくりとして、知覧武家屋敷庭園・平山邸を「お試し居住」用の住居として運営することができた。 令和7年度の施設稼働率は34.25%、利用者のうち1組が実際に移住した。
14	【地域】サテライトオフィス進出助成金	サテライトオフィスを構えた企業に対する補助金制度で、1社の進出があった。
15	【地域】サテライトオフィス誘致事業	サテライトオフィス誘致に係るマーケティングやサイト運営などの業務を委託し、引き続き進出に向けた協議を行っている。
16	【地域】オンラインお仕事講座開催事業	オンラインワークに興味のある女性のみを対象として、スキル習得、就業への意識醸成を目的とした講座を開催し、確認できた中でも3名の就業につながった。
17	【地域】婚姻届者への茶器プレゼント事業	若者のリーフ茶ユーザーを増やすきっかけに、婚姻届提出記念として茶器セットを送ることにより、リーフ茶の消費拡大につなげ、地元でのリーフ茶ユーザーの増加、茶所南九州市と「知覧茶」のPR（話題作り）になった。
18	【地域】知覧茶葉古道プロジェクト事業	知覧茶ブランドブック「茶本」英語版作成、知覧茶PRツールの整備として、知覧茶のプロモーション名刺となるコースターを作成 知覧茶のブランド力が高まることにより、消費拡大促進につながった。
19	【地域】知覧茶PR事業（消費拡大）	「知覧茶」の認知度向上による需要拡大及び日本一の産地として発展するためにも継続した「知覧茶」のPR活動等による消費拡大に向けた取組 知覧茶ノベルティの作成など実施した（一煎バック、ドリップバック、リーフティカップ）
20	【地域】地域資源活用事業補助金	地域資源を活用してふるさと納税返礼品を開発や加工を行う事業者に3件の施設整備と2件の返礼品開発の補助をし、返礼品の充実が図られた。併せて、本市の基幹産業である一次産業の多角化や活性化が図られた。
21	【地域】特産品販売促進事業	道の駅川辺やすらぎの郷や知覧平和公園等の集客施設に特産品販売基点を設置し、市民のみならず入込客へ本市の魅力ある特産品をPRできる場が生まれ、特産品の販売促進が図られた。

No.	事業名	事業内容
22	【地域】商店街課題解決補助事業	商店街の空き店舗活用に係る取組に1件の補助を実施し、当該店舗を活用したイベントの開催や創業希望者によるお試し出店等、商店街の活性化に繋がる事業が実施された。
23	【地域】創業・事業承継補助事業	次代の後継者・経営者が開業する取組に対し経費の一部の補助を4件行った。新規創業による空き店舗の解消や産業振興が図られた。
24	【地域】南九州市企業の稼ぐ力支援事業	商談会等に出展する市内中小企業者等に対し、出展に要する経費の補助を2件実施した。出展により販路拡大や商業活性化が図られた。
25	【地域】みなコレ魅力発信事業	市や市の特産品の魅力発信を関東地区での紙媒体広告や、WEB・LINEを使った広告、リアルイベントへの出展等を通して、知名度向上やふるさと納税の周知が図られた。
26	【地域】就労環境整備による若者等雇用促進事業補助金	若者等の雇用拡大のため、就労環境の改善や向上を目指す事業者に対し1件補助を行った。AIやPCの導入によるデジタル化が図られ、効率的で若者が働きやすい環境が整えられた。
27	【地域】みなコレクーポン発行事業業務委託	市公式LINEで割引クーポンを発行し、総額1億9,764万円の経済効果をあげた。また、市外利用者が約47%を占めたことで、市内事業者の売上増や新規顧客の獲得等、地域経済の大幅な押し上げに繋がった。
28	【地域】観光物産PR事業	本市ならではの、自然、景観、観光資源、文化及び伝統、まちづくり、特産品などの素材を効果的に発信することにより地域のイメージアップを図ることができた。
29	【地域】観光DMO設立準備事業	「観光」による「まちづくり」を推進するために、地域が稼げる仕組みづくりや観光地域づくりに取り組む人材の育成・活用を図るための観光地域づくり法人（DMO）の設立に向けた準備を行った。※南九州市DMOは令和8年4月に設立
30	【地域】休憩デッキ設置業務委託(アウトドア)	アドベンチャーパーク森のかわなべ敷地内に屋根付きの休憩デッキを設置した。利用者や随行者の休憩場所として利用されているほか、日差しが強い日の日除けスペースとしても利用されている。
31	【地域】オートキャンプ森のかわなべ外灯更新工事	外灯の灯具をLEDに更新し、利用者の安全性と利便性の向上が図られた。
32	【地域】知覧武家屋敷寺師邸 稼ぐ観光拠点整備事業	観光消費額の拡大を図るため、知覧武家屋敷内寺師邸の改修等を行った。
33	【地域】道路交通安全施設整備事業	道路環境が適正に改善されることで、通行車両はもとより通学児童や歩行者等の安心・安全で快適な暮らしにもつながり、交通事故防止も図られた。
34	【地域】景観まちづくり推進事業	景観スポット等の整備で周辺地域への回遊を促進し、地域活性化との相乗効果が生まれ、観光客の増加及び地域への愛着が醸成された。
35	【地域】都市計画マスタープラン策定事業	各種委員会やワークショップを実施し、市民ニーズや地域特性を反映した持続可能なまちづくりのための基礎資料を作成した。
36	【地域】知覧平和公園遊具更新工事	老朽化した遊具を新たに児童用遊具と幼児用遊具を設置し、利用者に満足していただける施設を提供できた。
37	【地域】諏訪運動公園外灯更新工事	老朽化した外灯を更新し、利用者に満足していただける施設を提供できた。
38	【地域】額娃運動公園テニスコート人工芝更新工事	老朽化した額娃運動公園テニスコートの人工芝を2面更新し、利用者の安全性と利便性の向上が図られた。併せてテニスコート廻りの老朽化したフェンスの更新を行い利用者の安全性の確保ができた。
39	【地域】額娃運動公園テニスコート防護柵更新工事	
40	【地域】額娃運動公園グリーン広場ナイター更新工事	額娃運動公園グリーン広場のナイター照明をLEDの更新し、利用者の利便性の向上が図られた。
41	【地域】川辺新町公園整備事業費	新たな公園を整備し、地域の子どもたちが遊ぶ場所、地域住民の憩いの場ができた。
42	【地域】岩屋公園キャンプ場ロッジウッドデッキ改修	岩屋公園のキャンプ場ロッジの経年劣化したウッドデッキ及び水廻り（風呂）の改修更新工事を行い、快適に利用していただけるようになった。
43	【地域】岩屋公園キャンプ場ロッジ水廻改修工事	
44	【地域】知覧平和公園サイドネット設置事業	ソフトボール競技大会誘致に係る会場施設としての機能性向上を図ることができた。

2 福祉の向上に関する事業

充当額 119,157千円

No.	事業名	事業内容
1	【福祉】温泉割引事業	マイナンバーカードを活用した民間温泉施設を含めた温泉割引事業を実施したことにより、オンライン化による事務の効率化を実現するとともに、利用者の健康維持、民間温泉施設の運営補助、さらには市内温泉施設の利用促進を図ることができた。 ・助成内容：民営温泉4施設、延べ22,043回分
2	【福祉】緊急通報システム事業	一人暮らしの高齢者で突発的に生命に危険な症状の発生する疾病を有する者が、急病その他の救助を必要とする事態に至ったときに必要な措置を講じることを目的とし緊急通報機器を設置することにより緊急時の迅速な対応及び不安解消に寄与した。 実績：4件、233,200円
3	【福祉】介護サービス人材確保対策事業	市が実施する介護職員初任者研修を受講する方や、市内の介護事業所に就職する方を対象に補助金を交付することで、介護人材の育成・定着を促進し、介護サービスの質の低下防止につながった。 【実績】 ・介護職員初任者研修受講修了者8名（内補助対象者7名） ・就職支援金（新規就職者：常勤26名、常勤以外6名） ・継続支援金（1～3年継続：22名）
4	【福祉】放課後児童対策事業費	放課後児童クラブ利用者のうち、非課税世帯、ひとり親世帯、多子世帯などの利用料及び小学1年生の7～8月分利用料等又は夏休み期間の利用料等を減免し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。
5	【福祉】ウエルカムベビー事業費	1歳未満の乳児のいる家庭に対し、育児用品の購入に使用できるチケットを交付することで、子育てにかかる経済的負担の軽減を図ることができた。
6	【福祉】保育士等確保対策事業	市内保育所等における保育士等の安定的な確保を図ることを目的とし、新たに働く保育士等が、希望をもって働くための就職支援として補助金を交付した。また、1年経過後の方にも南九州市内の子育て環境の充実に尽力した労をねぎらい慰労金相当の補助金を交付した。
7	【福祉】保育人材等確保事業	市内の保育所等で働く保育士等が参加する研修等に対する旅費や研修費用等を助成することにより、保育士等のキャリアアップ並びに就業継続に繋がった。
8	【福祉】 放課後児童健全育成事業 地域子育て拠点支援事業 一時預かり事業 子育てしやすいまちづくりプロジェクト事業	地域子育て交流館において、放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業及び子育てしやすいまちづくりプロジェクト事業を実施することで子育て支援の充実を図った。
9	【福祉】子ども医療費給付事業	南九州市の子ども（高校卒業まで）の保険適用分を助成する制度で、疾病の早期発見や早期治療を促進し、健康の保持増進と医療費の自己負担軽減を図り、子育て世帯へ支援を行った。
10	【福祉】小児科開設支援事業費	市民が安心して子どもを育てることができる環境を整備することで、健康と福祉の増進に寄与することを目的に、市内に新たに小児科施設を開設するものに対し、施設整備費に関する補助金を交付した。
11	【福祉】保育所等給食材料費支援事業補助金	物価高騰の影響を受けている保育所等が保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った従前どりの給食が提供されるよう給食材料費を補助した。

3 平和に関する事業

充当額 47,180千円

No.	事業名	事業内容
1	【平和】平和へのメッセージfrom知覧スピーチコンテスト事業	「平和を語り継ぐ都市」として、スピーチコンテストを通じて世界の恒久平和を願い、平和へのメッセージを広く発信することを目的に実施されている事業で、全国から「命の尊さ・平和の大切さ」をテーマとした作品募集をすることで、平和情報の発信と平和推進事業の取組を紹介することができた。また、発表の様子をインターネットライブ配信し全国に広報・発信することができた。
2	【平和】世界の記憶推進事業	世界の記憶推進事業(特攻に関する資料保存、管理、紹介)として、企画展の開催や展示機器のシステム運営、館内の説明手段としての音声ガイドシステム、遺書手紙等の適切な保存、修復に取り組み、平和を語り継ぐ施設として館の運営を行うことができた。
3	【平和】四式戦闘機「疾風」保存状態調査事業	知覧特攻平和会館で所蔵し、世界に1機しか現存しない旧陸軍四式戦闘機「疾風」の適切な保存を目的とし、機体調査並びにオイル補充するなど必要な処置が行えた。

4 教育の推進及び文化の保全に関する事業

充当額 185,416千円

No.	事業名	事業内容
1	【教育】市内高等学校活性化対策事業	生徒募集に係る学校の魅力向上に資する活動や英語等検定及び技能に係る国家資格等検定受験料補助などの教育活動支援により、市内県立高等学校の振興・活性化を図った。
2	【教育】市内高等学校活性化対策(地域みらい留学)	高校活性化のために地域みらい留学のスキームを活用し、全国から生徒を募集することで、高校の魅力をPRすることに繋がった。
3	【教育】伝建地区保存管理事業費	伝建地区である知覧麓武家屋敷群において、市（文化財課）管理物件の樹木剪定の他、台風で倒壊していた腕木門の災害復旧や、母屋の修景工事への補助を行い、歴史的風致の維持を図ることができた。
4	【教育】亀甲城跡再整備事業	亀甲城跡公園内の老朽化していた東屋の撤去及び修理を行ったほか、登城道の危険樹木の伐採を行い、来訪者の安全確保や環境整備に努めることができた。
5	【教育】地域資源マップ・地域資源看板設置事業	市内地区公民館に、文化財などの所在や由来を記した「地域のお宝マップ」案内看板を設置することで、地域資源を地区内外へ知らしめ後世に伝えていく仕組みを作り上げることができた。
6	【教育】清水磨崖仏保存活用事業	県史跡清水磨崖仏の保存活用に関して、専門家や住民代表らによる検討委員会を開催し、これまでの取組を検証し今後の方針をまとめた。また、清水地区で専門家を交えた中世石造物ワークショップを開催し、保存と活用を図った。
7	【教育】知覧城跡保存活用計画作成事業	国史跡知覧城跡の保存活用に関して、専門家や住民代表らによる検討委員会を開催し、中世山城としての本質的価値を整理した上で、将来に残していくための基本形な考え方をまとめた『知覧城跡保存活用計画書』を刊行した。
8	【教育】南九州市史編さん事業費	令和9年12月の『南九州市史』刊行に向けて、市史編さん委員会・市史編集委員会の開催や、市関係部局から収集した行政資料をもとに委託業者へ提供し執筆を進めることができた。
9	【教育】かわなべ青の俳句大会	南九州市川辺町生まれの俳人福永耕二の業績をしのび、児童生徒が俳句づくりを通じて、日本語のもつ美しさやリズムに対する理解を深めることができた。
10	【教育】川辺小学校児童生徒用机・椅子更新事業	児童机・椅子の更新により、教育環境の充実が図られた。
11	【教育】小学校教育振興備品購入事業（教材・タブレット）	小学校の教材備品や、一人一台端末の整備により教育活動の充実を図ることができた。
12	【教育】小学校学びのグレードアッププロジェクト事業	講師謝礼金やバス借上げ料等により各学校の特色ある教育活動の充実を支援することができた。
13	【教育】小学校ICT推進事業	ICT関連の機器等を最大限に生かし、学力の向上や情報活用能力の向上を図るために、家庭にWi-Fi環境のない児童ヘルパーを貸し出すことができた。また、ICT運用支援員を配置することでより充実したICT教育の推進が図られた。
14	【教育】ブランコ修繕設置事業（9小学校）	遊具設置事業により、教育環境の充実が図られた。
15	【教育】小学校特別教室空調設備改修事業	空調設備改修事業により、教育環境の充実が図られた。
16	【教育】中学校教育振興備品購入事業（教材・タブレット）	中学校の教材備品や、一人一台端末の整備により教育活動の充実を図ることができた。
17	【教育】中学校学びのグレードアッププロジェクト事業	各学校の特色ある教育活動の充実を支援するための消耗品等を購入できた。
18	【教育】キャリア教育『夢の懸け橋』事業	生徒が自ら生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう著名人による講演会を実施し、また、講演会後に3中フェスティバルを開催し、3中学校の交流、各学校の一体感の醸成、中1ギャップの解消を図ることができた。
19	【教育】中学校ICT推進事業費	ICT関連の機器等を最大限に生かし、学力の向上や情報活用能力の向上を図るために、家庭にWi-Fi環境のない生徒ヘルパーを貸し出すことができた。また、ICT運用支援員を配置することでより充実したICT教育の推進が図られた。
20	【教育】川辺中学校理科室実験台更新事業	理科室実験台更新事業により、教育環境の充実が図られた。
21	【教育】家庭教育充実事業費	市内の全小中学校において家庭教育学級等を実施し、子育てや家庭での学習・生活習慣づくりに関する学習機会を提供した。講座や交流を通して家庭教育への理解を深めるとともに、保護者同士が子育てについて考える機会となり、家庭教育力向上につながった。（延べ116回実施）

No.	事業名	事業内容
22	【教育】地域子ども教室推進事業	放課後や週末等における子どもたちの安全・安心な活動場所の確保を目的とし、地域の協力者の参画により、学習活動、体験活動、文化・スポーツ活動等を実施した。多様な活動を通して、児童の自主性や社会性を育むとともに、地域で子どもを見守り育てる体制づくりが図られた。（延べ日数973日、延べ参加児童数9,930人）
23	【教育】地域学校協働活動推進事業	地域学校協働活動は、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働する活動である。全小中学校で実施され、小中学生延べ3,186人、高校生その他の大人延べ2,202人、地域コーディネーター延べ824人、総延べ人数6,212人が参加し、体験活動等の充実や児童生徒と地域の方々との交流が図られた。
24	【教育】給食センター管理運営費（食器更新）	経年劣化による破損等を防ぐため、古い食器類を更新したことにより、安心安全に給食を提供できた。
25	【教育】学校給食用地場産物活用事業	市内の小中学校に通学する児童生徒が、地場産物について理解を深め郷土愛を育むため、献立を工夫し、地場産物を食材とした給食を提供しました。提供食材等：かわなべ牛、川辺メロン、知覧茶フィナンシェ、からいも餅、いちご、知覧茶かるかん等
26	【教育】茶給食事業	児童生徒が本市の基幹農産物で特産品であるお茶を飲用することにより、お茶文化についての理解を深めることができた。

5 その他の事業

充当額 199,183千円

No.	事業名	事業内容
1	【その他】予防接種関係事業（健康推進係）	高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して健康に暮らせるよう、予期せぬ重症化を防ぐことを目的に、各種予防接種（季節性インフルエンザ・高齢者の肺炎球菌感染症・新型コロナウイルス感染症）の費用を助成しました。 ・年間接種者数：延べ8,668名
2	【その他】予防接種関係事業（おやこ保健係）	子どもの予防接種は、生後2か月頃から始まり、多くの種類のワクチンを複数回接種し、集団で様々な免疫を付けるために非常に重要な役割を担っている。免疫が不十分な幼少期を安心して暮らすことに寄与できた。
3	【その他】予防接種関係事業（HPVキャッチアップ）	子宮頸がんは1.1万人/年の女性がかかる病気で、20歳代から増え始め、30歳代までにがん治療で子宮を失ってしまう人も900人/年いる。HPVワクチンの接種の機会がなかった方が接種したことによりがんになる手前の状態が減るとともに、がんそのものを予防することに一定数、寄与できた。
4	【その他】妊産婦健康診査関係事業	各健診の助成により早期受診につながっており、安全に出産するために欠かせない事業となっている。又、県外へ里帰りをする方には、医療機関との契約締結や還付できることも、負担軽減になっていると考える。産後ケア事業は、事業の周知がなされ利用相談も多くなっている。必要な方への支援が提供できた。
5	【その他】乳幼児健康診査関係事業	各種健診を実施し、対象の保護者や児が医師・歯科医師をはじめとした各種専門職による診察や指導、健康教育等を受ける機会をつくり、乳幼児期の疾病の早期発見や保護者の育児不安の軽減を図った。R6年度から実施の5歳児健診においては、5歳児歯科健診に内科診察を追加し、心身の異常の早期発見や病院受診勧奨、必要に応じて就学前までに適切に児童発達支援等につなげることができた。乳幼児健診の平均受診率は98.2%であった。
6	【その他】不妊治療費助成事業	不妊治療は、保険適用になったものの非常に高額であり、不妊に悩む夫婦にとって、経済的にも精神的にも大きな負担となっている。令和7年度は23件が申請を行い、経済的な面で負担軽減になり、子どもを産み育てやすい環境づくりに寄与した。
7	【その他】地球温暖化対策事業費（カーシェアリース事業）	カーシェアリース事業や公用車の電気自動車への切り替えをするために、充電設備の設置を行い、電気自動車の普及を進めることができた。
8	【その他】かんしゅ重要病害虫等総合対策事業	硬質プラスチックハウス等（ドア複車・天窓ラック・ビットハル・暖房機・頭上灌等水の取替）の修繕を行い、良質苗126,565本、延べ113戸の生産者へ配布し、さつまいもバイオ苗供給体制等の充実を図った。

No.	事業名	事業内容
9	【その他】学校給食費補助事業	子育て世帯の経済的な負担軽減を行い、子育て支援を推進するため、市内外の小中学校等に通学する児童生徒の保護者に対し、学校給食費の全額を補助しました。（ただし、市外の小中学校等に通学する児童生徒の保護者に対しては、市内の小中学校に通学する児童生徒の保護者が負担すべき学校給食費の額を上限とします。） 補助対象児童生徒数：小学生1,389名、中学生743名
10	【福祉】小児科開設支援事業費	市民が安心して子どもを育てることができる環境を整備することで、健康と福祉の増進に寄与することを目的に、市内に新たに小児科施設を開設するものに対し、施設整備費に関する補助金を交付した。
11	【福祉】保育所等給食材料費支援事業補助金	物価高騰の影響を受けている保育所等が保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った従前どおりの給食が提供されるよう給食材料費を補助した。